

# 主要国・地域における携帯電話等の周波数割当てについて

資料 10-3

- 2000年以降の主要国・地域の周波数割当てにおける条件等は、以下のとおり。

	周波数割当ての実施回数／実施年	最近の例(オークション方式、帯域、下限額)	上限額の設定の有無	上限額の目安の有無※1
米国	計15回実施 (オークション)	AWS-3帯 オークション(2015年) → SMRA方式※2 1.7GHz(5MHzx1x1ブロック, 10MHzx1x1ブロック:合計\$5.8億 1.7GHz/2.1GHz(5MHzx2x3ブロック,10MHzx2x1ブロック):合計\$100億	なし	なし
英国	計5回実施 (オークション)	2.3GHz帯/3.4GHz帯周波数オークション(2018年) → SMRA方式※2 2.3GHz帯: £1000万/ブロック(10MHz) 3.4GHz帯: £500万/ブロック(5MHz)	なし	なし
独国	計4回実施 (オークション)	700MHz/900MHz/1.8GHz/1.5GHzオークション(2015年) → CCA方式※3 700MHz帯: €7500万/ブロック(5MHzx2) 900MHz/1.8GHz帯: €3750万 /ブロック(5MHzx2)、 1.5GHz帯: €1845万/ブロック(5MHzx1)	なし	なし
仏国	計6回実施(うち5回は比較審査、2015年のみオークション方式)	700MHz帯オークション(2015年) → CCA方式※3 €4.16 億/ブロック(5MHzx2)	なし※4	なし
韓国	計3回実施 (オークション)	700MHz/1.8GHz/2.1GHz/2.6GHz帯オークション(2016年) → SMRA方式※2 700MHz帯(20MHzx2):7620億KRW、 1.8GHz帯(10MHzx2):4513億KRW、2.1GHz帯(10MHzx2):3816億KRW、 2.6GHz帯(20MHzx2):6553億KRW、2.6GHz帯(10MHzx2):3227億KRW	なし	なし
台湾	計4回実施 (オークション)	2.6GHz帯オークション(2016年) → SMRA方式※2 D1(20MHzx2):TW\$35億、D2(20MHzx2):TW\$37億、D3(20MHzx2):TW\$37億、 D4(10MHzx2):TW\$19億、D5(25MHz):TW\$9億、D6(25MHz):TW\$7億	なし	なし※5

※1: 一般に落札額の高騰等を防ぐためにオークションの設計・ルールにおいて工夫がなされている(競上げ時のラウンド回数や上げ幅の設定、過度に高騰・長期化する場合は中止し規則を見直し等)

※2: Simultaneous Multiple Round Auction(同時競上げオークション)

※3: Combinatorial Clock Auction(組み合わせ時計オークション)

※4: 割当て時に事業者に一定額の支払いを課した例あり。2009年の2.1GHz帯比較審査においては、割当てを受けた事業者は€ 2億4,000万の固定支払額を課された。

※5: 2002年の3Gオークションにおいて、オークションの対象となる周波数帯の価値を事前に算出し、それを「公示価格」のように事前に提示した事例あり。